

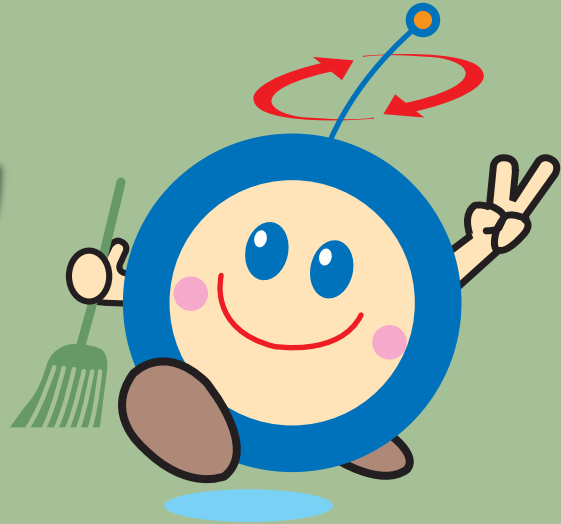
循環型社会情報誌

# ばってん

## リサイクルくまもと

No.38

平成23年  
3月発行



熊本県ごみゼロシンボルマスコット  
「ゼロッピー」

みんなの協力が、  
大きな力となります！

### 買い物にはマイバッグを持参しましょう。

レジ袋削減の手法の中で最も効果が高いとされている無料配布中止（有料化）について、現在、熊本市、水俣市、上天草市で行われている取り組みを県内市町村に広げ、ごみ減量化を図るため、「**レジ袋削減に関する連携促進会議**」を設置しました。

レジ袋の削減という活動を通じて、県民、事業者、行政が協働して環境にやさしいライフスタイルを確立し、循環型社会、低炭素社会の構築を進めていくことが重要です。



#### 連携促進会議

(平成22年7月設置)

県内の大手スーパーマーケット、事業者団体、消費者団体、環境団体、有識者、全市町村、県などで構成しています。

平成22年度は3回の会議を開催し、それぞれの立場から、事例報告、意見交換などを行い、レジ袋削減の取り組みの拡大について議論しました。

熊本市でのレジ袋有料化の火付け役となった、三重大学の朴恵淑教授による講演（平成22年11月30日、熊本県立劇場大会議室、演題「熊本モデル」～市民・事業者・行政の三位一体によるレジ袋削減）も行いました。



ばく けいしゅく  
朴 恵淑 教授

#### 【無料配布中止などレジ袋削減に取り組む市町村】

(H23.2 現在 30市町村)

実施中	熊本市、水俣市、上天草市
協議会設置等	設置済：合志市 設置予定：天草市（H23.4 予定） 宇土市（ “ ” ）
検討会開催等	熊本都市圏協議会 （熊本市、宇土市、宇城市、合志市、美里町、 大津町、菊陽町、御船町、嘉島町、益城町、 甲佐町、山都町、玉東町、西原村）、 人吉球磨地域 （人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、 湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、 球磨村）、 玉名市、氷川町、阿蘇市

1人が1年間に使用する  
レジ袋の枚数

**230枚**

参考



家庭ごみにおける  
レジ袋の構成比

**重量で1%**

レジ袋1枚(10g)の  
生産に必要な石油の量

**約18.3ml**  
(おちょこ1杯)

